

『聖書 聖書協会共同訳』の特徴——翻訳者・編集者の視点から

岩本潤一（元日本聖書協会総務部主事）

目次

1. はじめに——聖書協会共同訳発行後5年の状況
 - 1.1. 発行状況
 - 1.2. 聖書協会共同訳の教派・キリスト教主義学校での採用
2. 聖書協会共同訳の特徴——『聖書 新共同訳』との共通点と違い
 - 2.1.1. 共同訳の原則と、翻訳組織
 - 2.1.2. 翻訳者の年齢
 - 2.1.3. 翻訳者の男女比
 - 2.1.4. 翻訳の主体
 - 2.1.5. 翻訳原則
 - 2.1.6. 固有名詞表記と各書書名、旧約聖書統編の扱い
 - 2.1.7. 用字と振り仮名（ルビ）
 - 2.1.8. 注
 - 2.1.9. 『聖書翻訳研究』と『New 聖書翻訳』
 - 2.1.10. パイロット版
 - 2.2. 翻訳プロセス
 - 2.2.1. パラテキスト
 - 2.2.2. 翻訳組織
 - 2.2.2.1. 原語担当者と日本語担当者
 - 2.2.2.2. 翻訳者委員会と編集委員会
 - 2.2.2.3. 訳語検討会
 - 2.3. 翻訳について
 - 2.3.1. 最近の旧約聖書学の動向と聖書協会共同訳
 - 2.3.2. 重要な訳語の変更
 - 2.3.2.1. ツァラアト
 - 2.3.2.2. ピステイス・クリストゥ
3. 聖書協会共同訳が開く新しい聖書の読み方——詩編8編を例にして

日本聖書協会¹が『聖書 聖書協会共同訳』（以下「聖書協会共同訳」）の初版を2018年

¹ 日本聖書協会は米、英、スコットランドの聖書協会が協力して1875（明治8）年に開始した聖書普及事業に始まる。1876年には英国聖書協会、米国聖書協会が日本支社を設立した。1933年に現在の銀座に聖書館を開館し、1937年に英国聖書協会、米国聖書協会が日本聖書協会となった。1969年には英国聖書協会、米国聖書協会から財政的にも独立。2012年に現在の一般財団法人となった。

12月に発行して5年が経った。「聖書協会共同訳」は、1987年の『聖書 新共同訳』（以下、「新共同訳」）発行から31年ぶりの新訳であり、日本聖書協会として5番目の翻訳聖書²である。

『聖書 聖書協会共同訳』の翻訳作業を「新翻訳事業」と呼ぶ。この新翻訳事業発足の前提となった「共同訳事業推進計画諮問会議」（2008-2009年）の頃から10年間、本事業に関わった者として³、この講演では、以下の3つのテーマでお話をしたい⁴。

1. はじめに、聖書協会共同訳発行後5年の状況を簡単にご紹介する。
2. 次に、今日の本題の、聖書協会共同訳の特徴を、1987年に発行された最初の共同訳である「新共同訳」との共通点と違いという観点からお話する。
3. 最後に聖書協会共同訳が開く、新しい聖書の読み方について、詩編8編を例にとって紹介する。

「聖書協会共同訳」の発行に際し、日本聖公会には当初から翻訳事業にご参加いただき、「共同訳事業推進計画諮問会議」（2008-2009年）の議員として興石勇先生、検討委員会（2010-2018年）の検討委員として岩城聰先生、編集委員として広田勝一主教様（詩書・預言書）、翻訳者として小林進（旧約・原語担当）、菅原裕治（新約・原語担当）、竹内一也（続編・原語担当）、布川悦子（新約・原語担当）の諸先生の計7名にご協力いただいた。また広田勝一主教様には日本聖書協会役員（2017-2018年評議員、2019年-理事）として翻訳事業をお支えいただいた。この場を借りて篤く御礼申し上げたい。

1. はじめに——聖書協会共同訳発行後5年の状況

1.1. 発行状況

2018年12月以降、「聖書協会共同訳」はさまざまな判型（A6判小型、B6判中型、A5判大型、A4判講壇用）で発行してきた。発行順に挙げると以下のとおりである（記号は書籍略号）。

- 1) 中型 引照・注付き (SI043) 2018年12月
- 2) 中型 引照・注付き 旧約聖書続編付き (SI043DC) 2018年12月
- 3) 小型 (SI44)

² これまでの4つの翻訳は、明治元訳（1887年）、大正改訳（1917年）、口語訳（1955年）、新共同訳（1987年）。

³ 発表者は、当初、日本カトリック司教協議会に所属しながら（2003-2014年）、「共同訳事業推進計画諮問会議」（2008-2009年）議員、旧約聖書続編原語翻訳者（2010-2014年）、聖書協会評議員（2012-2014年）を務めた後、2014年6月に聖書協会翻訳部に移り、聖書協会共同訳の編集実務に携わった。

⁴ 本講演は、発表者がすでに公刊したいくつかの記事（参考文献参照）や、2022年6月29日に日本キリスト改革派教会大会役員修養会（刈谷市あいおいホール）で行った講演「『聖書 聖書協会共同訳』の特色——『聖書 新共同訳』との共通点と違い」に基づくこととお断りしておく。

- 4) 小型 旧約聖書続編付き (SI44DC)
- 5) 新約聖書 詩編・箴言付き 中型 (SI354)
- 6) 中型 (SI53)
- 7) 中型 旧約聖書続編付き (SI53DC)
- 8) 大型 (SI63)
- 9) 大型 旧約聖書続編付き (SI63DC)
- 10) 中型 革装 (SI58)
- 11) 中型 旧約聖書続編付き 革装 (SI58DC)
- 12) 大型 革装 (SI68)
- 13) 大型 旧約聖書続編付き 革装 (SI68DC)
- 14) 新約聖書 中型 (SI250)
- 15) 小型 革装 (SI48)
- 16) 大型 引照・注付き (SI053)
- 17) 大型 引照・注付き 旧約聖書続編付き (SI053DC)
- 18) 講壇用聖書 (SI98)
- 19) 講壇用聖書 旧約聖書続編付き (SI98DC)

1) から 19) までを合計すると総発行部数は **158,544** 部となっている (2023年8月末現在)。1) 2) 16) 17) は引照・注の付いているもの、3) ~15)、18)、19) は引照・注のない版である。A4判の講壇用聖書 (18) 19)) は 2023年6月に発行した。

このほかに以下のものがある。

- 20) 点字版 全40巻。印刷：東京点字出版所、2020年5月完成。
- 21) ウェブバイブル (<https://si.jbsbibleapp.com/>) 2020年1月31日公開。
- 22) オーディオ版 2024年1月から Amazon Audible で配信開始。

2021年8月から開始した『オーディオ版 聖書 聖書協会共同訳』の収録は2023年8月に終え、2023年10月に全書を「ウェブバイブル プレミアム版」(21)) に搭載、2024年1月から Amazon Audible で配信を開始した (22))。

2021年10月には『聖書協会共同訳 詩編をよむために』を発行、聖書協会共同訳の詩編の読み方を5つのアプローチからご提案した。

聖書協会からの発行物ではないが、日本キリスト教団出版局から2021年3月に『ここが変わった！「聖書協会共同訳」 新約編』が、2022年3月に『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳」 旧約編』が発行された。執筆者の多くは聖書協会共同訳の翻訳者・編集委員であり、聖書協会共同訳の特徴を分かりやすく解説している。2023年12月には『交読詩編 聖書協会共同訳』が日本キリスト教団出版局から発行された。

1.2. 聖書協会共同訳の教派・キリスト教主義学校での採用

日本聖公会、日本福音ルーテル教会をはじめ、ウェスレアン・ホーリネス教団、日本ホーリネス教団などがすでに教派としての採用を表明・決定している。日本聖公会は聖書協会共同訳に基づく『改正祈祷書』を編纂中である。

キリスト教主義学校では、これまでに北陸学院（2019年）、青山学院（2021年）、東北学院（2023年）、関西学院（2023年）、立教学院（2023年）、神戸女学院（2025年予定）などが礼拝用・教科書用に聖書協会共同訳を採用している。

2. 聖書協会共同訳の特徴——『聖書 新共同訳』との共通点と違い

2.1.1. 共同訳の原則と、翻訳組織

第二バチカン公会議（1962-65年）後、聖書の共同訳（interconfessional Bible translation）に関する標準原則が聖書協会世界連盟⁵と教皇庁キリスト教一致推進事務局（現・教皇庁キリスト教一致推進省）によってまとめられ、『聖書翻訳におけるプロテスタントとカトリックの共同作業のための標準原則（1968年6月）』⁶として発表された。前回の新共同訳の際は、日本で初めての共同訳だったということもあり、翻訳主体として共同訳聖書実行委員会⁷が組織され、この標準原則に忠実に従って委員会はプロテスタントとカトリックの委員を「同数ずつ」とする原則が終始貫かれた⁸。

⁵ 聖書協会世界連盟（United Bible Societies）は「1946年5月9日、ロンドンの南の町ヘイワーズヒースに13か国の聖書協会の代表が集まり、第2次世界大戦後の復興のなかで極端な聖書不足に対応するため協議したことが始まりである」（佐藤邦宏「聖書協会」『新カトリック大事典Ⅲ』研究社、2002年、633頁）。2016年時点で、148の聖書協会が加盟している。2016年5月に開催された世界大会で決議された「フィラデルフィア宣言」（God's Word: Living Hope for All. Philadelphia Promise）では、聖書協会の活動がエキュメニカルであることを確認している（“We serve all Christian Churches and remain fully committed to the principle of interconfessionality”）。

⁶ United Bible Societies, Secretariat for Promoting Christian Unity, *Guiding Principles for Interconfessional Cooperation in Translating the Bible*, June 1968.（邦訳、小泉達人「UBSの聖書翻訳の指針 聖書翻訳におけるプロテスタントとカトリックの共同作業のための標準原則」『聖書翻訳研究』No. 1 [1970]、46-56頁）

⁷ 共同訳聖書実行委員会は、第1回が1970年8月27日に開催、新共同訳の発行により1987年9月14日、第44回をもって解散。ただし著作者人格権の継承者として共同訳聖書委員会が組織された。その第1回開催は1987年10月7日。共同訳聖書委員会は新翻訳事業の開始に伴い、2010年10月9日に第48回をもって解散した。新共同訳の歩みに関しては、『日本聖書協会100年史』日本聖書協会、1975年、207-215頁、『新約聖書 共同訳について』日本聖書協会、1978年、『聖書 新共同訳について』日本聖書協会、1987年、『日本聖書協会125年史』日本聖書協会、2001年、42-73頁、『聖書翻訳研究』No. 33 (Mar. 2014)、57-58頁参照。

⁸ 上掲『日本聖書協会125年史』、44頁。『標準原則』C.「組織の構成」において、1.作業委員会は「プロテスタントとカトリック双方同数」、2.検討委員会は「カトリック、プロテスタントそれぞれより、同数ずつ」と記されている（邦訳、53頁）。ここでいう「作業委員会」は共同訳聖書実行委員会では「編集委員会」と呼ばれた（上掲『日本聖書協会100年史』、213頁）。

一方、聖書協会共同訳も上記の「標準原則」を改訂した、『聖書翻訳におけるプロテスタントとカトリックの共同作業のための指針（1987年改訂版）』⁹に従ったが、この改訂版指針では、『標準原則』C.1.「作業委員会」に相当する2.3.1.「翻訳チーム」において、委員のカトリックとプロテスタントの比率について言及せず、2.3.2.「検討委員会」でも「ローマ・カトリック教会と他の教派は、委員会の委員を選任する上で最も重要なのは技術的な能力であることを念頭に置きつつ、適切な数の委員を出すべきである」とし、「同数」原則にこだわらない。したがって、新翻訳事業では、新共同訳の場合のように、プロテスタントとカトリックの委員の数において、ある程度のバランスを考慮しつつ、必ずしも「同数」であることにこだわらなかった。

実際の委員の比率で言えば、新翻訳事業において、カトリックの委員は全148名のうちプロテスタント107名（72%）に対してカトリック41名（28%）で、比率は7:3、翻訳者62名のうちプロテスタント37名（60%）に対してカトリック25名（40%）で、比率は6:4だった。

2.1.2. 翻訳者の年齢

新共同訳の作業に携わった大野恵正氏によると¹⁰、「編集委員および翻訳者」は「旧約、続編、新約を合わせて45名。…基本的には1930年前後から1939年までに生まれた者で…私が最年少組。したがってほぼ1930年代の生まれの者が翻訳に従事したことになる」。大野氏が「翻訳委員就任の打診を受けたとき、32歳、新共同訳聖書が完成したときには、48歳になっていた。最年長の方々がほぼ60歳であった」¹¹。概算すると、新共同訳開始（1969年）当時の訳者の平均年齢はおおよそ34歳、終了（1987年）時には52歳である。

対して、新翻訳事業に携わった翻訳者62名を見ると、翻訳開始の2010年時点での平均年齢は53歳（ただし年齢不明者が4割近くいるため、これは概数にすぎない）。この時点での最年長が69歳、最年少が27歳。8年後の翻訳終了の2018年時点では、平均年齢61歳。最年長77歳、最年少35歳であった。

したがって、新共同訳の訳者の平均年齢は、聖書協会共同訳に比べて19歳若かった¹²。

⁹ United Bible Societies, Secretariat for Promoting Christian Unity, *Guidelines for Interconfessional Cooperation in Translating the Bible*. The New Revised Edition (Rome 1987).

(www.christianunity.va/content/unitacristiani/en/documenti/altri-testi/en.html) (邦訳、「聖書翻訳におけるプロテスタントとカトリックの共同作業のための指針（1987年改訂版）」『New 聖書翻訳』No. 3（2017年）、75-93頁）

¹⁰ 大野恵正「新共同訳聖書が目ざしたものとその限界」『旧約学研究』第13号（2017年）、55-73頁。

¹¹ 同、57-58頁。

¹² ちなみに、翻訳開始時（2010年）に51歳であった発表者は、2014年の翻訳者委員会合宿で、ある翻訳者が「自分は『新約聖書 共同訳』が刊行された1978年に生まれた」（つまり2014年時点で36歳）と語るのを聞いて、その時点でこの訳者が最年少だったこともあり、その若さに驚いたものであるが、新共同訳ではこの程度の若い訳者が中心メンバーだったのである。

2.1.3. 翻訳者の男女比

新共同訳と聖書協会共同訳で著しい対比を示すのは委員の男女比である。

新共同訳では全委員 90 名のうち女性はわずか 3 名（3 パーセント）だったのに対し、聖書協会共同訳の翻訳委員 148 名のうち女性は 34 名（23 パーセント）である。翻訳者だけをとると、男性 47 名（76 パーセント）に対して 女性 15 名（24 パーセント）で、比率は 3 : 1 である。

「女性委員の意見を反映して、新共同訳で 53 回用いられた「はしため」が、聖書協会共同訳では「仕え女」に変わった」し、「同じく女性委員の指摘も受け、新共同訳で「お前」が 2,850 回用いられたのに対し、聖書協会共同訳では、「お前」の使用が世俗的な王が臣下に用いる場合や物・動物に対して用いる場合に限定された結果、使用回数が 866 回に減った¹³というのは、その結果の一端である。

ちなみに翻訳者の中の女性委員 15 名のうち、日本語担当者（後述）は 8 名で、これは日本語担当者 19 名のうちの 42 パーセントである。新共同訳において国語委員 6 名のうち女性が 1 人もいなかったことを考えると、この違いは著しい。

中でも編集委員会（後述 2.2.2.2.）では、五書・歴史書編集委員会の日本語担当の翻訳者兼編集委員（後述 2.2.2.2.）は女性委員 1 名、詩書・預言書編集委員会の日本語担当の翻訳者兼編集委員も女性委員 2 名が担当しており、この 3 名が旧約聖書の訳文作成に果たした役割の大きさを特筆しておきたい。

外部モニター 20 名においても、男性 13 名（65 パーセント）、女性 7 名（35 パーセント）で、この女性比率は翻訳者の場合よりもさらに高い。

ちなみに 2009 年 12 月 16 日に聖書協会が翻訳事業参加教派に対して翻訳者・編集委員・検討委員・外部モニターの候補者推薦の依頼をした際、「女性は最低 25% 参加していただきたいと願っています」としており、上記の女性委員の比率は聖書協会の方針をほぼ実現したものであった¹⁴。

2.1.4. 翻訳の主体

なお、新共同訳と聖書協会共同訳は翻訳主体が異なる。前者を主導したのは共同訳聖書実行委員会であるが、後者は翻訳事業の全プロセスを通じて日本聖書協会が全責任を負った。

¹³ 『聖書 聖書協会共同訳について』日本聖書協会、2018 年、9 頁。

¹⁴ 聖書協会共同訳において女性の観点の重視は大きな特色であるが、「女性」の立場で検討委員を務めた山口里子氏は、訳語上、なお課題が多く残っていることを指摘している。山口里子（2019）、18-23 頁参照。なお、今後の聖書翻訳では「女性」だけでなく「性的少数者」の視点も考慮に入れていく必要があるであろう。小林昭博「『聖書協会共同訳』のクィアな批評——教会・キリスト教主義大学・クィアな空間で読む——」、『日本基督教学会北海道支部公開シンポジウム記録』第 5 号、日本基督教学会北海道支部、2021 年、83-97 頁参照。

そのため、書名も「聖書協会共同訳」とした¹⁵。

2.1.5. 翻訳原則

新共同訳と聖書協会共同訳の最大の違いは翻訳原則にある。

新共同訳は、当初、1960年代にE・A・ナイダ（1914-2011年）が提唱した新しい翻訳理論である「動的等価理論」（dynamic-equivalence Bible translation theory）を採用した。「ある文章の内容を別の言語で、等価で表現する」ことを目指すもので、いわば意識である。そこで、『新約聖書 共同訳』（1978年）はマタイによる福音書5章3節の Μακάριοι οἱ πτωχοὶ τῷ πνεύματι, ...を「ただ神により頼む人々は、幸いだ」と訳した。しかし、こうした訳が、一部の原音に基づく固有名詞表記（後述 2.1.6.参照）とともに、教会指導者の批判を受け、新共同訳の翻訳方針は「動的等価訳」から逐語訳（formal correspondence）に変更されることになった。上記の箇所は、新共同訳では「心の貧しい人々は、幸いである」となったのである。

このような翻訳方針の転換が、新共同訳において動的等価訳と逐語訳が混在する訳文が生まれているとの批判を招いた。こうした批判の代表例は土岐健治氏による以下の指摘に見られる。「たとえば、マタイ福音書1・24、25は、「ヨセフは…マリアと関係することはなかった」となっているが、これはダイナミックイクィヴァレンス理論に基づく訳文である。他方、創世記4・1は、「アダムは妻エバを知った」となっているが、これはフォーマルコレスポネンス理論に基づく訳文である。日本語で、男女が「関係する」と言う場合、なにがしか「不倫な関係」というニュアンスが感じられる。マタイのこの箇所を、たとえば教会学校などで用いるのにためらいを覚えるのは、筆者のみであろうか。ここは、原文通りに（つまりフォーマルコレスポネンス理論によって）「知らなかった」と訳すべきである」¹⁶。

聖書協会共同訳はこのような混乱を避けるべく、まず共同訳事業推進計画諮問会議を開いて、国内17教派・1団体の議員から意見を聞き、「翻訳方針前文」をとりまとめた。この議論に際し、日本聖書協会は、L・デ・ヴリース（Lourens de Vries 1955年-）による聖書翻訳におけるスコpos（目的）理論を採用した。スコpos理論は、動的等価訳（意識）と逐語訳を対立的に捉えず、翻訳方針の違いは、翻訳聖書が誰のために（聴衆）、何のために使われるのか（機能）の違いによって生じるものとする。「スコposをあらかじめ決定する

¹⁵ 『聖書 聖書協会共同訳』序文Ⅲ頁「『聖書 新共同訳』が共同訳聖書実行委員会の責任の下に翻訳されたのに対して、同じ共同訳とはいえ、今回の新翻訳事業は日本聖書協会理事会の決議の下に開始されました。そのため、翻訳と発行に関する責任者という意味で書名を『聖書 聖書協会共同訳』と致しました」。

¹⁶ 土岐健治「刊行20周年新共同訳を語る 中 最低限度の註を付すべき 問題点山積の新共同訳 改訂されなければ害悪を流し続ける」『キリスト新聞』2007年5月19日、2面。土岐健治氏には新共同訳訳文に関する以下の詳細な研究がある。土岐健治・川島二郎「聖書翻訳史における元訳・口語訳・新共同訳——旧約聖書特に創世記を中心として——」『一橋大学研究年報 人文科学研究』27（1988年）、53-149頁。

なら、翻訳理論をめぐって動的等価か逐語訳かという選択に関して揺れが生じるようなことはなくなる」¹⁷。

「翻訳方針前文」の結論は、新しい聖書翻訳は、「礼拝での朗読にふさわしい、格調高く美しい日本語訳を目指す」というものであった。

2.1.6. 固有名詞表記と各書書名、旧約聖書続編の扱い

新共同訳は、1969年に設置した聖書訳語委員会の多年にわたる検討の結果、『共同訳聖書の固有名詞の日本語表記—新約聖書—』を1976年10月に、『共同訳聖書の固有名詞の日本語表記—旧約聖書—』を1980年1月に発表し、これに若干改訂を加えたものが新共同訳によって採用された。当初、「原語の発音になるべく近く表記する」「地名の表記については、必ずしも原語によらず、慣用を尊重する」との基本原則に基づく固有名詞表記が採用されたが、「イエス」「ペトロス」「モーシェ」などのある意味で画期的な原音表記は当時の教会関係者から受け入れられず、慣用に従った「イエス」「ペトロ」「モーセ」に戻された¹⁸。これらの表記は、カトリック教会と共通の「イエス」を含め、各教派共通のものとして用いられ、一般にも定着していると言える。今回の聖書協会共同訳では、僅かな変更を除いて、新共同訳の固有名詞表記をそのまま用いた。変更したものは15語にすぎない¹⁹。

各書書名については、一部委員から見直しが提案されていた、コヘレトの言葉、使徒言行録、パウロ書簡のすべてについて新共同訳を踏襲することを、検討委員の意見に基づき、2018年2月1日に決定した。

「旧約聖書続編」の扱いも、新共同訳において長い議論の末に決められたことを踏まえて、聖書協会共同訳は新共同訳を踏襲した（以上、「序文」、Ⅲ頁参照）²⁰。

2.1.7. 用字と振り仮名（ルビ）

聖書協会共同訳は「翻訳方針前文」にあるとおり「義務教育を終了した日本語能力を持つ人を対象とする」ため、用字に関しては、新共同訳と同様、以下を原則とした。

①改定常用漢字表（平成22[2010]年11月30日告示）に原則従う。改定常用漢字表にあるものは漢字で表記し、ないものは平仮名で表記する。また、送り仮名も同表に従う。

②改定常用漢字表にあるものでも、慣用的に平仮名で書くものもありうる。この場合、原則として、機能性の強いもの（「～すること」の「こと」）は平仮名とする。その判断の参考

¹⁷ 上掲『聖書 聖書協会共同訳について』、3頁。

¹⁸ ちなみに、改定された新共同訳の固有名詞表記のリストは発行されていない。改定の原則を示した論文として、Z・イエール「新共同訳聖書の固有名詞表記」『聖書翻訳研究』No. 26 (Mar. 1995)、3-35頁。

¹⁹ 変更した15語は『聖書 聖書協会共同訳について』、10頁参照。

²⁰ 旧約聖書続編を旧約と新約の間に置くことは、『標準原則』A.2.（邦訳、47頁）、『1987年改訂指針』1.1.2.（邦訳、83頁）に基づく。

として『NHK漢字表記辞典』（NHK出版、2011年／2013年第5刷）を用いる。

③改定常用漢字表にあるものでも、複数の漢字が当てられるものもある（おもに訓読み）。この場合、原則として、平易で一般的なもの（「解る」「判る」ではなく「分かる」）を採用する。その判断の参考として『NHK漢字表記辞典』を用いる。

ただし、神学的用語である、「混ぜ書き」を避けるという理由で、例外として、改定常用漢字表にない漢字を用いることも認めた²¹。その際、新共同訳の用字も参考にした。

聖書協会共同訳も、これまでの聖書協会発行聖書と同様、総ルビとしたが、今回は、朗読者の便宜を考えて、初めてすべての数詞にもルビを付した。数詞の読み方については『NHKことばのハンドブック第2版』（NHK出版、2005年／2014年第12刷）に収められた「数字の発音」に準拠したが、聖書の度量衡・通貨の付いた数字の読み方については、本資料末尾に掲げた「聖書協会共同訳における数詞の読み方」（事務局用資料）を参照されたい。

2.1.8. 注

聖書協会共同訳は、聖書協会発行聖書として初めて聖書全体にわたり注を付けた²²。その結果、新共同訳では聖書本文に（ ）括弧を付して示された言葉遊びに関する説明は、すべて注で示される。逆に言うと、注のない版の聖書協会共同訳聖書では、こうした言葉遊びの背景が分からない²³。

注は、字数は僅かであるが、重要な事項が記される場合がある。その一例が、出エジプト記 34 章 29 節である。聖書本文は「モーセは、主と語るうちに彼の顔の肌が^a光を帯びていたことを知らなかった。」であり、注として「^a別訳「角」、ウ「角」²⁴としている。本文で「光を放っている」と従来（口語訳でも新共同訳でも）訳されてきた箇所の原文ヘブライ語の動詞カランは、「角」を意味するヘブライ語名詞ケレンに由来する。ケレンのセム語族共通の語根 qrn は古代中近東で「角」の意味で広く用いられている。出エジプト記のこの箇所を「光を放つ」の意味で訳してきたのは七十人訳ギリシア語聖書の解釈に基づく。しかし、原文ヘブライ語に基づいてラテン語訳（すなわちウルガタ）したヒエロニムスは、これを cornuta（角のある）と訳している。ミケランジェロ作の二本の角のあるモーセ像に着想を与えたウルガタ訳はこれまで誤訳とまで言われてきたが、七十人訳ではなくヘブライ語原文に従ったヒエロニムスの訳は必ずしも誤りと言えないかもしれな

²¹ たとえば、贖う、崇める、芥、曙、嘲笑う、葦、足枷、溢れる、憐れみ、早魃など。

²² ちなみに大正改訳（1917年）では新約聖書に注が付されていた。

²³ たとえば、創世記 2 章 7 節は、新共同訳では「主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、…」とあるが、聖書協会共同訳では本文「神である主は、^b土の塵で^c人を形づくり、…」に注「^bアアダマ」「^cアアダム」が付く。アは「（ヘブライ語）底本（レニングラード写本）」の意味。創世記のこの箇所については本間敏雄「「人」か「アダム」か（創世記 3・8）」『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳 旧約編」日本キリスト教団出版局、2022年、16-19頁も参照。

²⁴ ウは「ウルガタ」の略。

い。そこで今回は、本文は従来の訳にとどめつつ、別訳の可能性を注で示しているのである²⁵。

聖書協会共同訳の「注」の意味については、『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳』』の新約編²⁶、旧約編²⁷でも詳しく取り上げられているので、参照されたい。

2.1.9. 『聖書翻訳研究』と『New 聖書翻訳』

新共同訳においては、共同訳聖書実行委員会が1970年に設置される以前に、日本聖書翻訳研究会が組織されて、創立総会が1969年7月22日に聖書館で開催された²⁸。同研究会で発表された研究は、1970年に創刊された『聖書翻訳研究』(The Study of Bible Translating)誌に掲載された。日本聖書翻訳研究会は2010年10月19日の第48回をもって解散、『聖書翻訳研究』誌も2014年発行のNo. 33をもって終刊した²⁹。

新翻訳事業では、『聖書翻訳研究』に代わる翻訳研究誌として新たに『New 聖書翻訳』(New Bible Translation)を2014年に創刊し、2022年までに8号を発行している。

『聖書翻訳研究』のバックナンバーをひもとくと、2000年代に入り、新翻訳の翻訳者に

²⁵ 出エジプト記のこの箇所訳の扱いについては、第4回五書・歴史書編集委員会(2017年5月9日)で議論され、注を付けることに合意した。旧約聖書翻訳委員会訳『旧約聖書I 律法』岩波書店、2004年所収の出エジプト記(木幡藤子・山我哲雄訳)の訳文にも同様の注がある(277-278頁)。ヒエロニムスの聖書翻訳については加藤哲平『ヒエロニムスの聖書翻訳』教文館、2018年参照(同書に出34:29への言及はない)。ウルガタに基づく和訳としては『舊訳聖書 ヴルガタ全譯』第一巻、光明社、1954年がある。「モイゼ、シナイ山より下りし時、證詞(あかし)の板二枚を携えしが、主との會語(かたらい)よりして、己が顔に角生ぜしを知らざりき。」

²⁶ 伊藤寿泰「創造の時に起きたこと(ヨハネ1・1~5)」(36-39頁)、伊藤寿泰・須藤伊知郎「誰が偉大なのか(ヨハネ10・29)」(56-59頁)、中野実「信心深い「ユダヤ人」か、信心深い「人々」か(使徒2・5)」(60-63頁)、廣石望「欄外注の「起こされた」(Iコリント15・4)」(95-98頁)、辻学「**異**とは何か」(122-125頁)など。「聖書協会共同訳をこれから買うなら、重くて、少し値段も張りますが、せっかくだから引照・注付きの版にするのが良いと思います。そして欄外注を眺めてみてください。聖書が書かれてから私たちの手に届くまでの長い年月がそこに映し出されています。「神の言葉」が、限界や誤りを抱えた人間の言葉として記され、様々な異読を生み出しながら今日まで伝えられてきたという事実は、私たちが聖書の誤った「絶対化」から解き放つてくれると同時に、より適切な理解へと駆り立てることでしょう。注も活用しながら、できるかぎり正確な翻訳を志すのもその大事な一部です」(辻学、124-125頁)。

²⁷ 高橋洋成「「わたしが」? 「あなたが」? (土師記5・7)」(40-43頁)、同「王は何しにメギドへ? (列王記下23・29)」(61-64頁)、大島力「「魂の苦しみの後、光を見」(イザヤ書53・11)」(106-110頁)、同「**読**(ケレー)・**書**(ケティーブ)とは?」(124-126頁)など。

²⁸ 上掲『日本聖書協会100年史』、209頁、『聖書翻訳研究』No. 1(1970)、63頁。

²⁹ 『聖書翻訳研究』No. 33(2014)、58-60頁参照。なお、日本聖書協会は、「『聖書 聖書協会共同訳』…の訳文と関連事項に関する助言と協力をを行い、あわせて聖書翻訳に関する研究成果の発表の場を提供して、次世代の聖書翻訳・改訂を行う委員を育成することを目的とする」(「聖書協会共同訳諮問委員会規約」2021年9月2日、第3条)、「聖書協会共同訳諮問委員会」を2021年3月26日に発足させ、この委員会の下に、「日本語への翻訳を中心とする聖書翻訳に関する学術的研究成果の発表と、調査研究と、あわせて会員相互の交流を促進し、その成果を機関誌に公表して、もって将来の聖書の翻訳改訂作業ならびに新しい翻訳事業に寄与することを目的とする」(「日本聖書翻訳研究会規約」2021年9月2日、第4条)、「日本聖書翻訳研究会」を新たに2021年9月に発足させ、第1回研究会を2022年3月25日に開催した。「この研究会は、1969年7月22日に発足し、2010年10月9日をもって解散した日本聖書翻訳研究会の理念を継承し、新たに結成されたものである」(前掲「日本聖書翻訳研究会規約」第3条2)。

よる論文³⁰が現れる。

ちなみに、新共同訳では、発行後、「1989年から「地域聖書普及事業懇談会」を各地で開催し、2000年までに36都市で開催した」³¹が、新翻訳事業においては、発行前の2014年から各地で「聖書事業懇談会」「新翻訳聖書セミナー」を開催し、翻訳者兼編集委員による新翻訳の内容紹介を行った。これらの講演の内容は『聖書事業懇談会講演録1』（2017年）、『聖書事業懇談会講演録2』（2018年）として発行されている。また、聖書協会は2018年1月に小冊子『聖書 聖書協会共同訳 特徴と実例—礼拝にふさわしい聖書を—』³²を発行、キリスト教書店で無料配布した。

2.1.10. パイロット版

新共同訳においては、刊行前にパイロット版として1975年に『ルカによる福音書』を発行し、上述のように1978年に『新約聖書 共同訳』を発行した。旧約聖書では1983年に『詩編（抜粋）』を、1984年に『ルツ記』『ヨナ書』『ヨブ記』を発行した。これに対して、新翻訳事業においては、聖書全書のパイロット版の発行を行った。正式な版の刊行前に聖書全書のパイロット版を公にしたのは、聖書協会として初めてのことである。パイロット版は2015年12月から2018年1月まで、48分冊、計23,000部を発行し、263件、6,861の意見が寄せられた。寄せられた意見は最終訳文の作成のために参照された。パイロット版のリリースは2018年3月末をもって終了した³³。

2.2. 翻訳プロセス³⁴

2.2.1. パラテキスト³⁵

聖書協会共同訳は新共同訳の改訳ではなく、原文からの新たな翻訳なので、翻訳の基本的な作業は新共同訳と同じである。訳稿を委員会方式で検討する方法も、新共同訳と変わらない。聖書協会共同訳の作業と、新共同訳の作業の最大の違いは、パラテキスト（ParaText）と呼ばれる翻訳支援ソフトを用いたことである。パラテキストは、聖書協会世界連盟

³⁰ たとえば、樋口進「新共同訳聖書 列王記上 12章・16章の訳文の検討（1）」『聖書翻訳研究』No. 29 (Oct. 2002)、25-38頁、飯謙「最近の詩編研究から見た聖書翻訳上の諸問題」同 No. 31 (Apr. 2008)、35-49頁、辻学「ユダ書・第二ペトロ書の翻訳について—新共同訳を中心に—」同、51-63頁、小友聡「コヘレト書 3章 1-17節の翻訳をめぐって」同 No. 33 (Mar. 2014)、23-37頁など。

³¹ 『日本聖書協会 125年史』、67頁。

³² 冊子の内容は日本聖書協会ウェブサイトからダウンロードできる。「参考文献」参照。2023年に改訂版を発行。

³³ 『聖書 聖書協会共同訳について』、8頁。

³⁴ 翻訳プロセスの概要については、同、5-9頁参照。ここでは翻訳プロセスで特記すべき点にのみ触れる。

³⁵ 同、4頁。

(United Bible Societies) と聖書翻訳のための非営利団体である SIL が共同開発したもので、原文と訳文、各種言語の翻訳を同一章節ごとに表示しながら、翻訳作業を進めることができる。編集した訳文は聖書協会世界連盟のサーバに送られ、プロジェクトに参加している翻訳者がサーバに同期することで、最新の状態の訳稿を見ることが可能となる。遠隔地にいる翻訳者が、パラテキストを見ながら、Skype 等の通信手段を用いて共同で訳文の検討を進めることもしばしば行われた。

パラテキストは、翻訳作業における聖書全書にわたる訳語の調整、並行箇所調整、用字の統一の助けとなったばかりでなく、印刷に際してもスタイルシートを印刷指示に置換することで、完全なデジタル入稿を可能にした。ただし、完全なデジタル入稿を行うために、日本聖書協会は UBS (聖書協会世界連盟) のパラテキスト開発チームに対して、パラテキスト上でのルビ入力機能の導入を依頼し、実現させた。聖書協会発行聖書で、ルビを含む完全なデジタル入稿を行ったのは、聖書協会共同訳が初めてである。その結果、組版期間も大幅に短縮された。翻訳作業が 2017 年末に終了した後、ルビ入力³⁶を経て、訳文テキストの一部を最初に印刷所の三省堂印刷に入稿したのは 2018 年 2 月 16 日 (金) であったが、その初校が出校したのは翌週の 2 月 22 日 (木) であった。聖書協会共同訳において、校正における原稿との異同のチェックはほぼ必要がなかった。また、校正過程で変更があれば、逐次パラテキストに反映させ、校正ゲラとパラテキストは常に同期していたので、校正中も、翻訳作業中に行ったのと同じ検索機能を活用できた。

2.2.2. 翻訳組織

2.2.2.1. 原語担当者と日本語担当者

聖書協会共同訳と新共同訳の翻訳組織上の大きな違いは、翻訳者全体に占める日本語担当者の割合の大きさである。「礼拝での朗読にふさわしい、格調高く美しい日本語訳を目指す」という翻訳方針を実現するために、聖書協会共同訳は最初の段階から原語担当者と日本語担当者が協力して訳文の作成に当たった。新共同訳では、翻訳者 45 名に対して国語委員は 6 名にすぎなかったが (比率は 9 対 1)、聖書協会共同訳では、翻訳者 62 名のうち原語担当者 43 名、日本語担当者 19 名 (比率は 7 対 3) であった³⁷。

新共同訳と異なり、聖書協会共同訳の日本語担当者に歌人・詩人が多く含まれたことが、旧約詩文学の翻訳において決定的な貢献を果たしたのは間違いない³⁸。

また、日本語担当者は、訳語の選択においても、原語担当者にはない、新たな観点からの指摘を行った。旧約聖書において、ヘブライ語ナハラの訳語としての従来の「嗣業」が「相

³⁶ ちなみに聖書協会共同訳のルビの総数は 383,912 である。

³⁷ 『聖書 聖書協会共同訳について』、5 頁。

³⁸ 春日いづみ「詩編に親しむ 心に泉を」『聖書協会共同訳 詩編をよむために』日本聖書協会、2021 年、39-64 頁参照。

続地」「所有の民」などに、「半部族」（民 32:33 など）が「部族の半数」に変わったのは、日本語担当者の指摘に基づく³⁹。このうち「嗣業」の訳語をやめたのは、この語が「少納言（現代日本語書き言葉均衡コーパス）」⁴⁰で検索しても3用例しか見出されず、『日本国語大辞典』にも採録されていないことが決定的な理由であった⁴¹。

2.2.2.2. 翻訳者委員会と編集委員会

新共同訳と同様、聖書協会共同訳においても、最も時間と労力を要したのは、委員会形式での訳文のチェックである。各書ごとの翻訳者委員会は150回、五書・歴史書、詩書・預言書、続編、新約の4つに分かれた編集委員会は25回開催されたが、議論する委員の人数が増えるに従い、意見も多様となって、訳文の確定までに多大の時間を要することになる。ある編集委員会では、一語の訳をどうするか議論に優に40分が費やされる場合もあった⁴²。

2014年3月時点で、第四稿は聖書全書の5.3パーセントが完成しているにすぎず、事務局が試算したところ、当時のペースで翻訳者委員会を進めると、訳業の完成までに今後133年かかるという状況であった。そこで、事務局では2014年に委員会の進め方に関して以下の2つの方式を導入した。

一つはチェックシートの導入である。すなわち、翻訳者委員会の作業のために、事前に委員に訳文チェックのためのエクセルのチェックシートを配布する。委員は節ごとに文言・改訂案・理由を記入し、事務局に提出する。事務局は各委員のチェックシートの内容を節番号順にまとめて、各書の原語担当者に送る。原語担当者は各委員のコメントに対する応答を応答欄に記入する。事務局はこの応答付きチェックシートを委員会開催前に出席委員全員に送り、委員会では、原語担当者の応答に関して異論のある点にしぼって議論を行う——というものであった。この方法は編集委員会においても導入された。

もう一つは「翻訳者兼編集委員」の任命である。当初、翻訳者委員会は、各書の原語担当者と日本語担当者のほかに、他書を担当する2名ずつの原語担当者と日本語担当者を加えた6名で構成されていた。2014年から、新たに、編集委員会ごとに、翻訳者（原語・日本語）の中から「翻訳者兼編集委員」を任命することにした。「翻訳者兼編集委員」

³⁹ 『聖書 聖書協会共同訳について』、5頁。

⁴⁰ <https://shonagon.ninjal.ac.jp>

⁴¹ なお、2018年に岩波書店から刊行された『広辞苑第七版』には「嗣業」の項目が新たに加えられている。

⁴² 第8回詩書・預言書編集委員会（2017年12月2日）において、ヨブ記2:5「しかし、あなたの手を伸べて、彼の骨と肉を打ってごらんなさい。彼は必ずやあなたに向かって、あなたを呪うに違いありません。」→「*あなたの手を伸べて、彼の骨と肉を打ってごらんなさい。彼は必ずや面と向かって、あなたを呪うに違いありません。」（*別訳「しかし、あなた」とするの）に45分（議事録字数で11,644字）、ヨブ記19:25「私は知っている。／私を贖う者は生きておられ／後の日に塵の上に立たれることを。」→「私は知っている。／私を贖う者は生きておられ／後の日に塵の上に立たれる。」とするの）に40分（議事録字数で10,138字）を要した（所要時間は議事録字数による概算。午前10時から午後4時まで開催されたこの編集委員会の議事録の全字数は79,218字）。

は、翻訳者委員会に出席して各書のチェックを行うと同時に、編集委員会に出席して、担当する書に関する編集委員のコメントにも応答する。編集委員会の場合、応答はおもに原語担当の翻訳者兼編集委員が行う。原語担当者は負担が重いので、担当範囲を分担する——というものであった。

この2つの新たな方法の導入により、2014年3月当時、完成まであと133年かかると予想された翻訳作業が、3年余りで終了したのである。

2.2.2.3. 訳語検討会

回数と時間の限られる編集委員会や検討委員会では議論し尽くせない訳語上の問題について、編集委員会の下に作業部会として訳語検討会（旧約、続編、新約）を設けて、重要な訳語の検討を行ったのも、当初の予定になかった翻訳プロセス上の変更であった。最初の会合（第1回旧約訳語検討会）は2015年3月23-27日の第4回翻訳者委員会合宿（開催地は鎌倉・イエズス会日本殉教者修道院）で開催された。旧約訳語検討会は2017年8月27日-9月1日の第9回翻訳者委員会合宿（開催地は栃木県那須町・ベタニア修道女会聖ヨゼフ山の家）までの9回の会議で、ヘブライ語約1800語について検討を行った。

変更した訳語の一覧は公表していないが、動植物、人造物、宝石名に関する変更の一部は上掲の『聖書 聖書協会共同訳 特徴と実例——礼拝にふさわしい聖書を——』、20頁に示されている⁴³。

動植物、人造物の訳語については、UBSが翻訳者のために作成した資料⁴⁴等を参照した。「いなご」から「ばった」への変更については、翻訳者の小林進氏の論文⁴⁵を参照されたい。

2.3. 翻訳について

2.3.1. 最近の旧約聖書学の動向と聖書協会共同訳

新共同訳の翻訳が行われた1970年代から1980年代にかけて、聖書学、特に旧約聖書学では歴史的・批判的方法に基づく聖書テキストの資料批判（伝承史・編集史）が主流であった。ところが、1990年代になると、旧約学は、五書の資料仮説（JEDP仮説）が否定され

⁴³ 宝石名については月本昭男「エフォドの石の名称（出エジプト記28・17～20）」、前掲『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳」 旧約編』30-35頁も参照。

⁴⁴ Ray Pritz, *The Works of Their Hands: Man-made Things in the Bible* (Helps for Translators), UBS Technical Helps, United Bible Societies, New York 2009; Edward R. Hope, *All Creatures Great and Small: Living Things in the Bible* (Helps for Translators), UBS Technical Helps, United Bible Societies, New York 2005; Robert Koops, *Each According to Its Kind: Plants and Trees in the Bible* (Helps for Translators), UBS Technical Helps, United Bible Societies, Reading, U.K. 2012.

⁴⁵ 小林進「イナゴ、バッタについて」『New 聖書翻訳』No. 4 (2017.8)、45-50頁、「いなご」、「ばった」（出エジプト記10・4ほか）」、前掲『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳」 旧約編』24-29頁。

るなど (R・レントルフ⁴⁶)、従来の旧約学の基盤をなす定説が崩壊するという大きな転機を迎えた⁴⁷。同時に B・C・チャイルズ⁴⁸らによる「正典的アプローチ」⁴⁹が評価されるようになった。これは、最終形態としての聖書テキストを全体として捉える見方である⁵⁰。正典的アプローチでは、テキストの構造 (たとえばテキストの中で同一フレーズが用いられて枠を構成する「インクルージオ」) に注目するので、そのために、できるだけ訳語を原語と対応させて訳すことが必要となる。聖書協会共同訳は、こうした聖書学の変化も反映している⁵¹。

たとえば、新共同訳では「神に従う人」と訳されたヘブライ語「ツァディク」が、聖書協会共同訳では「正しき者」と訳される。ヘブライ語「ツェデカ」は、新共同訳で「恵みの御業」と訳されたのに対して、聖書協会共同訳では「義」と訳される。こうして同根語の「ツァディク」「ツェデカ」の意味のつながりが分かりやすくなった⁵²。

2.3.2. 重要な訳語の変更⁵³

聖書協会共同訳において最も大きな訳語の変更が、旧約と新約についてそれぞれ一語ずつある。

2.3.2.1. ツアラアト

一つは旧約におけるヘブライ語ツアラアトの訳語である。「ツアラアト」(新約においては

⁴⁶ Rolf Rendtloff, transl. Margaret Kohl, *Canon and Theology: Overtures to an Old Testament Theology (Overtures to Biblical Theology)*, Minneapolis: Fortress Press, 1993.

⁴⁷ 山我哲雄「戦後日本の旧約聖書学の歩み」『福音と世界』2015年7月号、14-21頁参照。旧約聖書学における最近の研究としては、魯恩碩『旧約文書の成立背景を問う——共存を求めるユダヤ共同体』日本キリスト教団出版局、2017年がある。大島力氏による同書書評(『日本の神学』57号(2018年)、119-124頁)も参照。「まず、第一部五書の冒頭に置かれている「五書における歴史批判的研究の歴史」である。この五書の研究史概観は、近代の旧約聖書学の発端となった Wellhausen を中心に据えて、17世紀から Wellhausen まで、そして Wellhausen から 1970年代まで、そして 1970年代から現在までを扱う壮大なものである。とりわけ Wellhausen の資料仮説 (J、E、D、P) が如何に大きな影響を与えて来たかを述べ、しかし、その資料仮説が 1970年代以降徹底的批判を受けてほぼ崩壊し、現在の五書研究は「混乱期」にあることが明確に辿られている。他方、にもかかわらず祭司文書 (P) が存在していたこと、また五書がペルシア時代に決定的に形成されたことは大多数の研究者の共通土台となっている」(大島力の書評、121頁)。

⁴⁸ B. S. Childs, *Introduction to the Old Testament as Scripture*, Philadelphia, Fortress Press, 1979.

⁴⁹ 正典的アプローチについては、中野実「第9章 正典批評」、浅野淳博・伊東泰樹・須藤伊知郎・辻学・中野実・廣石望・前川裕・村山由美『新約聖書解釈の手引き』日本キリスト教団出版局、2016年、280-319頁も参照。

⁵⁰ 詳しくは大島力「旧約学の動向と聖書翻訳」『New 聖書翻訳』No. 1 (2014.5)、29-44頁参照。

⁵¹ 小友聡「新翻訳聖書の魅力——旧約詩文学を実例として——」『New 聖書翻訳』No. 3 (2017.8)、1-14頁、同「新翻訳聖書の魅力——旧約詩文学を実例として——」『聖書事業懇談会講演録 1』日本聖書協会、2017年、85-109頁も参照。

⁵² 詳しくは飯謙「旧約詩編の新翻訳に関する覚え書き」『New 聖書翻訳』No. 2 (2015.12)、15-26頁、同「聖書協会共同訳——聖書翻訳から啓かれたこと」『聖書事業懇談会講演録 2』日本聖書協会、2018年、73-95頁、同「第二章 文芸学的方法——理念と応用」、木幡藤子・青野太潮編『現代聖書学講座第2巻 聖書学的方法と諸問題』日本基督教団出版局、1996年、43-60頁も参照。

⁵³ 『聖書 聖書協会共同訳について』、11-12頁。

ギリシア語訳「レプラ」⁵⁴については、1996年の「らい予防法」の廃止も受け、1997年に新共同訳の新約において「らい病」と訳されていたレプラをすべて旧約の訳語に合わせ「重い皮膚病」に改めていたが、なお同訳語が必ずしも適切なものでないとの指摘を受け、本新訳事業においても当初から検討を続けた。最終的に第7回検討委員会（2017年3月13日）において、これを「規定の病」とすることで合意して理事会に答申し、日本聖書協会2018年度第3回理事会（2018年6月1日）においてこの答申が承認され、2019年度第1回理事会（2018年11月29日）で最終決定された。「規定の病」は「律法で規定された病」を意味し、皮膚だけでなく家や革製品についても同じ訳語を用いることとした。「規定の病」は「重い」「皮膚」という、原語にない意味を含まない点で、従来の「重い皮膚病」の訳語の持つ課題をある程度解決するものと考えている。レビ記の関係する箇所訳文は次のようになる。

「祭司がその皮膚の患部を調べて、その患部の毛が白く変わり、皮膚の下まで及んでいるなら、それは規定の病である。祭司はそれを確認したら、その人を汚れていると言い渡す。」
(レビ 13:3)

「祭司は行って調べる。家にかびが広がっていたなら、それは家に生じる悪性の規定の病である。その家は汚れている。」(レビ 14:44)

なお、聖書協会共同訳は新共同訳の小見出しをほぼ踏襲しているが、新約における「規定の病を患う人」に関する箇所の小見出しを、聖書本文の記述に従い、従来「重い皮膚病を患っている人をいやす」としていたものを「規定の病を患っている人を清める」に改めた(マタ 8:1、マコ 1:39、ルカ 5:12)⁵⁵。また、用語解説においても、新共同訳の「重い皮膚病」の項目において「その病の人々をイエスが癒された」⁵⁶としていたものを、聖書協会共同訳のこれに該当する「規定の病」の項目では、同じく聖書本文の記述に合わせて、「その病の人々をイエスが清められた」に改めた⁵⁷。

2.3.2.2. ピステイス・クリストゥ

もう一つは新約におけるギリシア語「ピステイス・クリストゥ」⁵⁸の訳語である。「ピステ

⁵⁴ 中野実「イエスとレプラの清め——イエスにとってイスラエルとは?——」『聖書学論集 38』日本聖書学研究所、2006年、31-90頁、同「聖書の「ツァーラアト」, 「レプラ」をどう翻訳するか?」『聖書翻訳研究』No. 32 (Jul.2011)、31-46頁参照。

⁵⁵ *The Greek New Testament, Fifth Revised Edition*, Stuttgart: Deutsche Bibelgesellschaft, 2014の小見出し「The Cleansing of a Leper」も「清める」である。

⁵⁶ 新共同訳の「癒やす」の用字には不統一があり、引用はママ。

⁵⁷ 「規定の病」の訳語については、聖書協会共同訳発行後間もなく「東京新聞」2018年12月4日版が報じた(「重い皮膚病」訳語消える 聖書新訳 ハンセン病連想に配慮)。須藤伊知郎「「規定の病」?(マルコ 1・40)」、前掲『ここが変わった! 「聖書協会共同訳」 新約編』23-26頁も参照。

⁵⁸ Richard B. Hays, *The Faith of Jesus Christ: The Narrative Substructure of Galatians 3:1-4:11*, 2nd ed., Grand Rapids, MI: Eerdmans, 2002 (邦訳、『イエス・キリストの信仰——ガラテヤ 3章1節—4章11節の物語下部構造』河野克也訳、新教出版社、2015年)、阿部包「パウロにおけるピステイスの意味——イエスの信仰とわれわれの信仰——」『New 聖書翻訳』No. 2 (2015.12)、27-41頁参照。

イス・クリストゥ」の訳については、新翻訳事業の作業が始まった2010年から重要な課題となり、事業に参加した諸教派の神学者・牧会的指導者の意見も聴取しながら、検討を重ねた。「ピステイス・クリストゥ」は、「キリストへの信仰」と「キリストの真実」の両方の訳が可能である。第7回検討委員会（2017年3月13日）は、限定した部分に限り主格的属格の意味で訳すことを承認し、「キリストの真実」とする合意に達した。「限定した部分」とは、ロマ3:22、25、26、ガラ2:16-20、3:22-26、エフェ3:12、フィリ3:9、「神は真実な方」（二コリ1:18）などの場合である。ただし、「キリストの真実」と訳した場合も、「キリストへの信仰」の別訳が可能であることを欄外に注記している。

このうちローマの信徒への手紙3章について若干の説明をすれば、パウロは「神の義」について、神は、アブラハムへの約束をイエスの十字架によって果たし、そのキリストを信じる者を義と認めることで、ご自身が義であることを現されたことを述べていると考えられる。21節から26節はその神の義がテーマなので、「神の義が現された」という小見出しを付け、その中で「キリストの真実」と訳している。これに対して27節以降は、信仰による義認がテーマとなるので、「信仰による義」という小見出しを付け⁵⁹、そこでは、伝統的な「キリストへの信仰」を前面に示す訳となっている。したがって、今回、「キリストの真実」という訳語を採用したからといって、「信仰による義認」というパウロの立場を否定するものではないのである⁶⁰。

3. 聖書協会共同訳が開く、新しい聖書の読み方——詩編8編を例にして

最後に、聖書協会共同訳に、どのように新たな知見が反映され、そうしてできた新しい聖書翻訳によって、どのような新しい聖書の読み方の可能性が開かれるか、詩編8編を例に紹介してみたい。

聖書協会共同訳の翻訳者兼編集委員である飯謙氏は言う。「今回は（聖書）協会共同訳のために改めて原文からの直訳に努め、いくつもの発見がありました。その一つということで、詩編8編を紹介いたしたく存じます。これは作品の冒頭の2節と終結部の10節が「主よ、我らの主よ／御名は全地でいかに力強いことか」と、同じになっています。これは…囲い込む構造になっており、インクルージオと呼ばれます」。

「ここで新たな知見というのは、2節後半「あなたは天上の威厳をこの地上に置き」という箇所です。実はこの前半と後半をつなぐところに、ヘブライ語でアシェルという関係詞（英語の *that* や *which* にあたる語）が書かれています。この語は、前後関係から、古代ギリシア語訳でも近代以降もうまく訳されず、アシーラー（私は歌おう）と読み替えられてきたと思われます。口語訳の「(みどりごと、ちのみごとの口によって) ほめたたえ

⁵⁹ *The Greek New Testament, Fifth Revised Edition* では21節の前に“Righteousness through Faith”という小見出しを付ける。新共同訳も同じ。

⁶⁰ 「ピステイス・クリストゥ」については、浅野淳博「私たちが義とされる要件（ガラテヤ2・16）」、前掲『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳 新約編』103-105頁も参照。

られています」や新共同訳の「(あなたの威光を) たたえます」にはその理解が反映されています。しかし原文通りに読みますと、アシェル直前には「地」という語がありますから、自ずと、後続の言葉をアシェルにかかるように訳せました。すると、神は、その威光(存在感とも言い換えましょうか)、われわれが天上にあると思込んでいた神の存在感を、実は地上に置いていたという驚きを読み取ることができたのです。詩編を連作と見る近年の研究成果から考えると、先行する詩編3-7編で描かれている作者が置かれた悲惨な嘆きの現実、それが「地」であるわけですが、そこに神がいますのだ、と。創世記28章でヤコブが兄エサウと暮らすことができなくなって、故郷を離れ、ベテルの石切場で、石を枕に寝る場面があります。未来を絶たれた絶望の極み。そこでヤコブは天から降ってくる梯子の夢を見る。彼は目を覚まして、「主がこの場所におられるのに、私はそれを知らなかった」(創28・16)と叫ぶ。危機の最中で天とつながっていることを発見するのです。小さな変化なのですが、直訳と文脈を連動させ、新たな発見に導かれたということです」⁶¹。

詩編8章2節原文⁶²

何と	崇高か	あなたの名は	すべてで・地の
マー・アッディール	シムカー	ベコル・ハーアーレツ	
関係詞	?	あなたの輝き	上に(ある)・天の
アシェル	テナー	ホーデカー	アル・ハッシャーマイム

さらに詩編8編の続く箇所において、「神は、作者に敵対する力を腕力でねじ伏せるのではなく、無力さの象徴である「幼子と乳飲み子の口」によって「鎮める」(3節)、すなわち、弱いと見える人の力をもって和解へと至らせる方であると静かに伝えます。詩編3-7編に綴られた敵への批判や禍害の言葉——それは時として聖書の読者のつまずきともなりかねない、耳を覆いたくなるような言葉ですが、文脈を追う読みを心がける中で、別のメッセージに導かれます」⁶³。

これは一例にすぎないが、新たな聖書学の知見に基づく聖書協会共同訳の新しい訳文が、聖書の意味の新たな発見を通じて、われわれを新たな教会的実践へと導くことを願うものである。

⁶¹ 飯謙「リモートインタビュー 聖書のツボ第1回「深掘り！詩編と箴言」前編

(<https://www.youtube.com/watch?v=ZVATMPXNE7Q>)、2021年8月31日公開による。同「神の栄光は天の上にあるのか、地に置かれているのか(詩編8・2)」、前掲『ここが変わった！「聖書協会共同訳」旧約編』、79-82頁も参照。この解釈について、津村俊夫氏は「この考え方は不可能ではない」と述べている(津村俊夫、2021年、27頁)。

⁶² 飯謙、前掲「神の栄光は天の上にあるのか、地に置かれているのか(詩編8・2)」、80頁。

⁶³ 同「第一章 詩編の基礎知識——構成、技法、研究史、そして…」『聖書協会共同訳 詩編をよむために』日本聖書協会、2021年、36頁。

参考文献

浅野淳博「礼拝に相応しい聖書翻訳とは——スコポス理論の精密化に向けて」（シンポジウムにかえて 主題「邦訳聖書と教会」発題1）『日本の神学』60（2021年）、196-201頁。

浅野淳博・伊東寿泰・須藤伊知郎・辻学・中野実・廣石望『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳」 新約編』日本キリスト教団出版局、2021年。

飯謙「旧約詩編の新翻訳に関する覚え書き」『New 聖書翻訳』第2号（2015年）、15-26頁。

同「聖書協会共同訳——聖書翻訳から啓かれたこと」『聖書事業懇談会講演録2』日本聖書協会、2018年、73-95頁。

同「第一章 詩編の基礎知識——構成、技法、研究史、そして…」『聖書協会共同訳 詩編をよむために』日本聖書協会、2021年、9-38頁。

同「リモートインタビュー 聖書のツボ第1回「深掘り！詩編と箴言」

前編 (<https://www.youtube.com/watch?v=ZVATMPXNE7Q>)、

後編 (<https://www.youtube.com/watch?v=VJNNBuegAm8>)、2021年8月31日公開。

岩本潤一「聖書新翻訳事業について」『日本カトリック神学院紀要』第8号（2017年）、1-21頁。

同『聖書 聖書協会共同訳』——回顧と展望『New 聖書翻訳』第5号（2019年）、1-21頁。

同『聖書 聖書協会共同訳』発行の意義『神学ダイジェスト』No.130（2021年）、1-7頁。

Junichi Iwamoto, “Publication of the Japan Bible Society Interconfessional Version”, *Journal of Biblical Text Research*, Vol. 44 (2019), 284-302.

大島力・小友聡・島先克臣（編集）、飯謙・池田裕・石川立・小林進・高橋洋成・月本昭男・本間敏雄『ここが変わった！ 「聖書協会共同訳」 旧約編』日本キリスト教団出版局、2022年。

小友聡「旧約聖書の翻訳と今日の教会——新共同訳から聖書協会共同訳へ」（シンポジウムにかえて 主題「邦訳聖書と教会」発題2）『日本の神学』60（2021年）、202-208頁。

加藤博道「邦訳聖書と教会の礼拝」（シンポジウムにかえて 主題「邦訳聖書と教会」発題3）『日本の神学』60（2021年）、209-214頁。

『交読詩編 聖書協会共同訳』編集委員会編『交読詩編 聖書協会共同訳』日本キリスト教団出版局、2023年。

小林進「イナゴ、バッタについて」『New 聖書翻訳』No. 4 (2017.8)、45-50頁。

津村俊夫「日本の聖書翻訳」『日本の神学』60（2021年）、9-30頁。

『日本基督教学会北海道支部公開シンポジウム記録』第5号、日本基督教学会北海道支部、2021年。

日本聖書協会『New 聖書翻訳』第1号～第8号、日本聖書協会、2014-2022年。

同『聖書事業懇談会講演録1』『聖書事業懇談会講演録2』日本聖書協会、2017年、2018年。

同『聖書 聖書協会共同訳 特徴と実例——礼拝にふさわしい聖書を——（改訂版）』日本聖書協会、2023年5月
(https://www.bible.or.jp/wp-content/uploads/2021/03/features_snd_examples.pdf)。

同『聖書 聖書協会共同訳について』日本聖書協会、2018年12月 (https://www.bible.or.jp/wp-content/uploads/2021/03/si_bible.pdf)。

同（編）『聖書 聖書協会共同訳 発行記念講演集』日本聖書協会、2019年。

山口里子「「聖書翻訳検討委員会」の一員になって」『福音と世界』2019年7月号（特集＝『聖書 聖書協会共同訳』を読む）、18-23頁。

聖書協会共同訳における数詞の読み方

数 字 用 例	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	100	千	万	何
アサリオン、アンマ、エファ、オメル、オルギア	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
カブ、キカル、クアドランス、ケンタ、ゲラ、コイニクス、ゴメド、コル、コロス	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
歳	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハツ	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハツ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
サトン、シェケル、セア	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハツ	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハツ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
週	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハツ	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハツ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
スコイノス、スタディオ、トファ	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
そう[艘]	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハツ	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハツ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
タラント、ツェメド、トファ	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハツ	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハツ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
タリク金貨、デナリオン、ドラクメ	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
樽[たる]	ヒト	フタ	ミ	ヨ	イツ(ゴ)	ム	ナナ	ヤ	キュウ(ク)	ジュウ(ア)ツ(ト)	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン(ジュウヨ)	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
頭[ト]	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハツ(ハチ)	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハツ(ジュウハチ)	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
日、日目	イチニチ	フツカ	ミツカ	ヨツカ	イツカ	ムイカ	ナノカ(ナヌカ)	ヨカ	ココノカ	トカ	ジュウイチニチ	ジュウニニチ	ジュウサンニチ	ジュウヨンニチ	ジュウゴニチ	ジュウロクニチ	ジュウナナニチ	ジュウハチニチ	ジュウキュウニチ	ニジュウニチ	ヒヤクニチ	センニチ	マンニチ	ナンニチ
人	ヒトリ	フタリ	サン	ヨ	ゴ	ロク	シチ	ハチ	ク(キュウ)	ジュウ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
年	イチ	ニ	サン	ヨ	ゴ	ロク	シチ(ナナ)	ハチ	ク(キュウ)	ジュウ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
バト、バトス、ピム、ヒン、ベカ、ベキス、ホメル	イチ(イツ)	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイチ(ジュウイツ)	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
杯	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク(ロク)	ナナ(ナナ)	ハツ(ハツ)	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク(ジュウロク)	ジュウナナ(ジュウナナ)	ジュウハツ(ジュウハツ)	ジュウキュウ(ジュウキュウ)	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
匹	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク(ロク)	ナナ(ナナ)	ハツ(ハツ)	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク(ジュウロク)	ジュウナナ(ジュウナナ)	ジュウハツ(ジュウハツ)	ジュウキュウ(ジュウキュウ)	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
本	イツ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク(ロク)	ナナ(ナナ)	ハツ(ハツ)	キュウ	ジュウ(ア)ツ	ジュウイツ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク(ジュウロク)	ジュウナナ(ジュウナナ)	ジュウハツ(ジュウハツ)	ジュウキュウ(ジュウキュウ)	ニジュウ(ア)ツ	ヒヤク	セン	マン	ナン
升(ます)	ヒト	フタ	ミ	ヨ(ヨ)	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ト(ジュウ)	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
マネ、ミリオン、ムナ、ムレテス	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
指	ヒト	フタ	ミ	ヨ(ヨ)	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ト(ジュウ)	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
リトラ、レテク、レプトン、ログ	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク	ジュウナナ	ジュウハチ	ジュウキュウ	ニジュウ	ヒヤク	セン	マン	ナン
羽	イチ	ニ	サン(サン)	ヨン(ヨン)	ゴ	ロク(ロク)	ナナ(ナナ)	ハツ(ハツ)	キュウ	ジュウ(ア)ツ(ジュウ)	ジュウイチ	ジュウニ	ジュウサン	ジュウヨン	ジュウゴ	ジュウロク(ジュウロク)	ジュウナナ(ジュウナナ)	ジュウハツ(ジュウハツ)	ジュウキュウ(ジュウキュウ)	ニジュウ(ア)ツ(ニジュウ)	ヒヤク(ヒヤク)	セン	マン	ナン